行財政改革特別委員会資料 令和6年11月27日 企画経営部企画課

## ウェルビーイング・SDG s 推進ファンド事業実施状況について

# 1 第二次審査 (プレゼンテーション)

令和6年11月11日に第一次審査(書類審査)を通過した6事業を対象に第二次審査(プレゼンテーション)を実施した。

※1事業者30分:説明(10分)→質疑(15分)→採点(5分)

#### (1)審査方法

審査員が各評定項目について採点を行い、全審査員の総合評価に基づき、選定した。

①評価点の考え方について

審査員の採点を評定項目ごとに平均し、提案事業ごとに合計点を算出し、評価点とする。

②最低基準について

評価点100点満点中60点を最低基準点とし、最低基準点を満たさない場合は原則選定しない。

#### <評定項目>

○ 計足項目 /	
評定項目	内容
事業目的(必要性)	・事業の目的が明確で、ファンドの目的に合致しているか。 ・地域ニーズや地域課題、社会課題を正確に理解し、課題に対する具体的な 解決策が示されているか。SDGsに資する事業であるか。
内容(有効性) (30点)	・事業の内容が具体的で、目的と整合したものになっているか。 ・事業計画・スケジュールが具体的で、実現可能なものになっているか。
実施体制 (15点)	・実施体制(財務状況、人材、技術等)や責任体制が明確で、計画的な事業実施が期待できるか。
成果 (15点)	・成果(時期、数値、指標、状態など)が具体的で計測可能か。
コスト (10点)	<ul><li>・収支のバランスがとれ、費用の使途は事業目的に対し妥当か。</li><li>・積算根拠が具体的かつ妥当に記載されているか。</li><li>・資金計画が具体的であり、資金確保が考えられているか。</li></ul>
将来性 (10点)	・今後の事業の発展性が期待できるか。 ・助成終了後も事業の継続が期待できるか。 ・提案事業者の強みや専門性、独自性、先駆性が発揮できる内容であり、 またそれが具体的に示されているか。

## (2) 審査結果

①第二次審査通過·選定 4事業

②第二次審査不選定 2事業

(3) 助成金額合計

¥10, 077, 000-

#### 2 今後のスケジュール

令和6年11月29日 助成金の交付(概算払)

令和7年3月~4月上旬 実績報告

令和7年4月 調査・助成金の額の確定

令和7年4月~5月 成果報告会(助成対象事業者から実行委員会へ報告)

令和7年6月~7月 議会報告

<参考・選定事業>

- <参考・選定事業> 			
事業者名	事業概要<①目的 ②内容>	助成金額 (総事業費)	
株式会社 ラヴィプラス (4th Place)	申請事業名:拠点型テーマ発見コミュニティの運営 ①目的 これまでオンラインや公園、都度確保するスペースで活動を行ってきたが、「ここにいけば何かが生まれそう」と思える「場所」を作り、その場所を通して世代間交流や活動の幅を広げ、新プロジェクトの創出をめざす。 ②内容 子どもにとっての学校・家庭・塾以外の居場所を創出するため、区内の施設をフリースペースとして開放し、そこに集まった子どもや若者が交流することで、子どもたちが自ら考え成長するきっかけを生み出す。	¥4, 780, 000 (¥10, 475, 080)	
一般社団法人めぐもり	申請事業名: 目黒駅前ウェルビーイング up プロジェクト ①目的 これまで目黒駅前地域で活動を行う中で、一人暮らしをするシニア世代の 孤独・孤立や孤独を感じる若者世代の存在、子育て世帯間・世代間の交流 の不足を認識しており、各種イベントを通じて人々の交流をめざす。 ②内容 ミニミニまつり(縁日)、CCC 目黒、目黒駅前カイギ、ハロウィンイベン ト、シェアガーデン収穫祭、いい運動会、目黒街角クリスマス、まちなか 防災、街焚き火などの各種イベントを実施する。	¥3, 484, 000 (¥4, 774, 842)	
特定非営利活動法人みんなの食育	申請事業名: こみゅにていぷらざ八潮をめぐるリジェネラティブなまちづくり ①目的 こみゅにていぷらざ八潮をコアにして、周辺の自然環境を活かした三世代が集うことができる場を、既存の資源を再利用して創出する。 ②内容 昔遊び、SDGsゲーム、注連縄づくり、子ども相談受付などを通じた子どもの居場所づくりや土壌リフッシュセンターの実践、土壌リフレッシュマイスターの認証、親子で無農薬・無化学肥料の畑の運営、サーキュラーエコノミー講座・ワークショップを開催する。	¥1, 026, 000 (¥2, 003, 544)	
一般社団法人 Nボノ	申請事業名:教育版 Minecraft で目指すSDGsシティしながわ ①目的 教育版 Minecraft を活用した Minecraft カップを通じて、大人と子どもたちが一緒にSDGsや社会課題について学びあう機会を創出するとともに品川区の子どもたちが自分たちの街づくりについて考えるきっかけを作ることで、社会課題と解決方法を自ら考え、実現できる人材を地域に増やすことをめざす。 ②内容 ・タツナミ シュウイチ先生による Minecraft ワークショップ・エネルギーとSDGsを学ぶ Minecraft ワークショップ・教育版 Minecraft の体験ワークショップ	¥787, 000 (¥984, 720)	